FeatureExhibition

Tokugawa Yoshikatsu at the Edo to Meiji Transition

企画展

徳川慶勝の幕末維新



《徳川慶勝肖像写真（アンブロタイプ写真）》徳川慶勝撮影　徳川林政史研究所蔵
《米利幹船神奈川入津之図》徳川美術館蔵

蓬左文庫
HOSA LIBRARY CITY OF NAGOYA
TEL（052）—935—2173
〒461—0023 名古屋市東区徳川町

〈関連イベント〉

「源氏物語の世界」特別対談
「国宝　源氏物語絵巻の修理を通してみえてきたもの」
岡墨光堂修復部長・国宝修理装潢師 大山昭子氏
徳川美術館 学芸部長 四辻秀紀
11/3(土・祝) 午後1時30分～3時
定員150名・入館者聴講自由(入館料別途要)

「徳川慶勝の幕末維新」記念講演会
「幕末明治150年を迎えて ―幕末尾張藩の描かれ方 大河ドラマ『西郷どん』を例に―」
東京学芸大学副学長　大石 学氏
11/23(金・祝)午後1時30分～3時
定員150名・600円(入館料別途要)

申込方法／往復ハガキまたはFAX・E-Mailで、住所・氏名・年齢・電話番号・FAX番号を記入の上、徳川慶勝展記念講演会係まで。11月6日必着、抽選。(FAX.052-935-9444・E-Mail:taiken@tokugawa.or.jp)

●ギャラリー・トーク
11/9(金)「源氏物語の世界」
11/18(日)・12/5(水)「徳川慶勝の幕末維新」
各午後1時～入館者参加自由(入館料別途要)

●土曜講座
11/10(土) 源氏物語の世界
徳川美術館 学芸部長 四辻秀紀
12/1(土) 幕末維新と写真術
徳川美術館 学芸員 加藤祥平
各午後1時30分～3時　600円(入館料別途要)

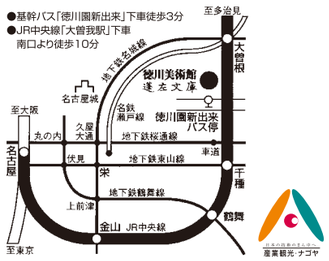
〈徳川園催事〉
「錦を纏う 徳川園紅葉祭」
11/23(金・祝)～12/9(日)



〈次回予告〉
企画展「書は語る ―30cmのエスプリ―」
平成31年 1/4(金)～2/3(日)



徳川美術館 THE TOKUGAWA ART MUSEUM
蓬左文庫 HOSA LIBRARY CITY OF NAGOYA
〒461-0023 名古屋市東区徳川町
tel.052-935-6262(徳川美術館)
tel.052-935-2173(蓬左文庫)



産業観光・ナゴヤ





群蟲真景図(昆虫標本・図画帖)
徳川慶勝収集・編　江戸時代　19世紀
会期中 場面替あり　徳川林政史研究所蔵



遠望鏡(天体望遠鏡) ギルバート社製
徳川慶勝所用　イギリス　19世紀
徳川美術館蔵

特別展
源氏物語の世界
―王朝の恋物語―

紫式部によって著された『源氏物語』は、日本の文学史上もっとも重要な作品として尊崇され、各時代を通じ読み継がれ、後世の文学をはじめ、精神・文化面でもさまざまな影響を与えてきました。これと表裏をなすように、原作が成立してさほど時を隔てずに絵画化がはじめられたとみられ、以後現在にいたるまで幾度も繰り返し描き継がれ、「源氏絵」という日本の絵画史上における重要なジャンルを形成してきました。

本展覧会では、国宝「源氏物語絵巻」や河内本の最古写本である蓬左文庫蔵本をはじめ、『源氏物語』の貴重な写本類や平安時代以来の源氏絵の系譜をたどります。

とりわけ、徳川美術館に所蔵される国宝「源氏物語絵巻」は、国庫補助金による文化財の保存修理が行われ、絵十五場面は平成二十七年に完了しましたが、その後も詞書の修復が継続して実施され、これまで八段分の詞書が完成しました。今回は修復が終わった場面と共に、来年度に修理予定の作品を併せて公開します。

〈公開期間と展示作品〉　＊印は修理が完了した作品

国宝　源氏物語絵巻
11月3日～18日
関屋・絵合＊　柏木(二)＊　橋姫
11月20日～12月2日
竹河(二)＊　宿木(二)　宿木(三)＊
12月4日～16日
蓬生＊　横笛　早蕨＊　東屋(一)＊

重文　源氏物語(河内本)　名古屋市蓬左文庫蔵
重文　源氏物語　元応二年(1320)奥書　個人蔵
重文　物語二百番歌合　個人蔵
重文　源氏物語絵詞　徳川美術館蔵
　源氏物語画帖　土佐光則筆　徳川美術館蔵
国宝　初音蒔絵料紙箱　徳川美術館蔵
国宝　胡蝶蒔絵机　徳川美術館蔵
ほか　およそ70点を展示

Special Exhibition
The World of the *Tale of Genji*
―A Tale of Courtly Romance



国宝　源氏物語絵巻 宿木(三) 絵(部分)　平安時代　12世紀　徳川美術館蔵



国宝　源氏物語絵巻 柏木(一) 絵　平安時代　12世紀　徳川美術館蔵

企画展
徳川慶勝の幕末維新

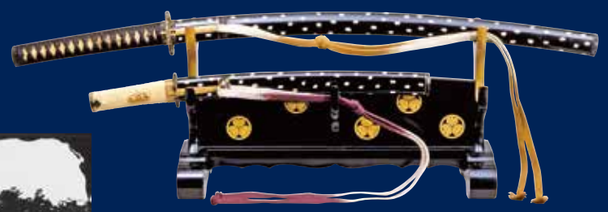
Feature Exhibition
Tokugawa Yoshikatsu at the Edo to Meiji Transition

尾張徳川家の分家・高須松平家に生まれた慶勝(1824～83)は、尾張徳川家14代当主となり、同家の事実上最後のお殿様として激動の幕末・維新を生き抜きました。尾張藩政の舵取りを担い日本を新たな時代へと導いた生涯を通じ、その知られざる決断と転換の時代を探ります。

また慶勝は、書画・博物学・文芸にも造詣が深く、特に西洋から渡来したばかりの写真術に着目し、数多くの写真を遺し写真家大名とも呼ばれました。その内には名古屋城の貴重な内外の写真や尾張徳川家の家族の肖像写真も含まれています。本展では、名古屋城本丸御殿全体公開を記念し、名古屋城の写真を中心に徳川林政史研究所所蔵の慶勝の写真も併せて公開いたします。



高須四兄弟(右から徳川慶勝・徳川茂栄・松平容保・松平定敬)肖像写真
二見朝隈撮影　明治11年(1878)　徳川林政史研究所蔵



石首魚石入螺色塗刀拵・脇指拵
徳川慶勝所用
江戸時代　安政4年(1857)
徳川美術館蔵



名古屋城二之丸御殿・天守写真(ガラス原板)
徳川慶勝撮影　江戸時代　19世紀
後期(11/27～12/16)展示　徳川林政史研究所蔵



黒塗紺糸威具足　明珍宗貞作
徳川慶勝着用　江戸時代　嘉永2年(1849)
徳川美術館蔵



国宝　源氏物語絵巻 竹河(二) 絵　平安時代　12世紀　徳川美術館蔵



重文　源氏物語(河内本)
鎌倉時代　正嘉2年(1258)
名古屋市蓬左文庫蔵



国宝　源氏物語絵巻 東屋(一) 絵(部分)　平安時代　12世紀
徳川美術館蔵